

陰性カードを用いた肝炎ウイルス検査結果通知普及のための基盤構築に資する研究

研究分担者：池上 正 東京医科大学茨城医療センター 消化器内科
研究協力者：會田 美恵子 東京医科大学茨城医療センター 総合相談支援センター

研究要旨： 入院前肝炎ウイルス検査の結果通知について、入退院支援センター・肝炎コーディネーターを中心としたシステム構築を行い、陽性患者の受診率向上が可能となった。また陰性結果については、口頭・文書説明に加えて研究班で作成した陰性カードを同時に配布することで、1年後の陰性結果認知率の改善が見られ、非認識受検を減少する可能性が示唆された。同様の取り組みを地域で水平展開するために、周辺医療機関との協力体制を構築すべく準備中である。

A. 研究目的

当院において入退院準備センターや肝炎コーディネーターを組み入れて構築した肝炎ウイルス検査の結果通知システムでは陽性結果はもちろん、陰性結果についてもどの患者に対して通知されたかが追跡できるように記録されている。陽性患者の受診率向上が可能となったが、さらに陰性結果の認知度向上について、特に研究班で作成した陰性カードと一緒に配布することで、明らかに結果通知1年後での陰性結果の認知率が全ての年齢層で向上することを証明した。また、陰性カードを配布されたグループでは他の医療機関で、医療者に対して肝炎ウイルス検査が陰性であったことを伝える機会が増加しており、非認識の繰り返し受検を減少させる可能性が示された。これらの結果を原著論文としてまとめ、発表することができた。

陰性カードを配布することで、広く陰性結果を社会に認知してもらうことができることができるが、この情報を患者・医療機関と広い範囲で共有することが非認識受検減少のためには不可欠であり、また今後集団検診などで肝炎ウイルス検査が行われた機会などに陰性カードを検診結果とともに配布する、といった手法を取り入れる必要がある。我々が用いた手法は、肝炎コーディネーター活動に関する病院の理解と、肝炎ウイルス検査結果通知を病院の安全管理上の問題として捉え取り組むという医療機

関側の姿勢から実現したもので、すべての医療機関に同様の取り組みを期待するのは難しいかもしれない。

当院が担当するエリアの医療機関の中で同様の取り組みを行なう意思のある医療機関を募り、システム構築のためのハザードや問題点を明らかにすることを研究の目的とした。

B. 方法

（ステップ1）

近隣の専門医療機関との協議会の際に、陰性結果通知の際に陰性カードを利用したいと希望する施設を募る。

（ステップ2）

希望医療機関がない場合に、システム導入の障害となる要素を明確にするために、希望なしと答えた施設に対してヒアリングを行う。

（ステップ3）

陰性カード導入を希望する施設に対して、システム構築支援を行う。病院上層部、あるいは安全管理部門との調整を行う。

C. 結果

現在ステップ1の段階にある。

D. 考察

現段階で考察しうる内容はない。

E. 政策提言および実務活動

<研究活動に関連した実務活動>

研究班活動に加えて、茨城県の肝炎対策協議会の副会長として、県の肝炎施策に協力・助言を行い、さらに茨城県の肝疾患診療連携拠点病院である東京医科大学茨城医療センターの実施責任者として、茨城県と連携し、県内の肝疾患専門医療機関との協議会などを通じて県内の総合的な肝炎対策施策の推進活動に携わっている。また、茨城県産業保健総合支援センターの産業保健相談員として、特に職域における肝疾患に対する対策について提言を行なっている。

F. 研究発表

1. 発表論文

1. 會田美恵子、池上 正、是永匡紹.
手術・検査前肝炎ウイルス検査の陰性結果伝達手段に関する検討 肝臓.
64(6):259-269. 2023

2. 学会発表

1. 會田美恵子, 山縣憲恵, 古田 大,
石井 明, 池上 正. ウイルス肝炎
elimination に向けた肝炎ウイルス検査
結果通知方法改善の取り組み. 肝
臓. 64 Suppl(1) A283. 2023

3. その他

啓発資材

「一生に一度は肝炎ウイルス検査を！」
のタイトル・ロゴを配置したスクラップを作成した。

啓発活動

1. 令和5年度肝がん撲滅運動 茨城県責任者 市民公開講座「元気な肝臓のために知っておくこと」 講演1 「アルコールとどう付き合うべきか？」 池上 正

令和5年7月29日 東京医科大学茨城医療センターにて開催

2. 第35回肝臓病教室 テーマ:糖尿病と肝疾患 「奈良宣言2023について」 池上 正 令和5年8月19日 東京医科大学茨城医療センターにて開催
3. 第36回肝臓病教室 テーマ:肝炎すころくで知る肝炎医療 令和6年3月16日 東京医科大学茨城医療センターにて開催予定 開会挨拶・ファシリテーター
4. 令和5年度肝炎コーディネーター研修会 日本肝臓学会主催 特別講演「肝がんゼロを目指すコーディネーター活動」 池上 正 令和5年9月16日 日立製作所日立総合病院にて hybrid方式で
5. 令和5年度茨城県肝炎医療コーディネーターステップアップ研修会 テーマ:見つけよう!自分のコーディネーター活動 ファシリテーター 令和6年1月20日 東京医科大学茨城医療センターにて開催

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし